

教育目標 立志鍛練の精神のもと、次代を担う知・徳・体の調和のとれた人間の育成、学力の向上をめざす教育を積極的に推進し、地域の信頼、期待、ニーズに応えられる学校を構築する。						
重点目標	評価項目	計画 (PLAN)	実践 (DO)	評価 (CHECK)		改善 (ACTION)
		重点努力目標	方策・手立て	学校自己評価	学校関係者による評価	* 結果の考察・改善
知育の推進	基礎・基本の定着と学力向上 (高橋誠)	①授業の改善・授業力の向上 ②個別指導の充実 ③家庭学習の充実	①「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善(研究授業、校内研修) ・臨時休業中の授業オンライン化 ②成績上位者の指導(個人添削指導、特別講座) ・成績下位者の指導(学習相談会、指導カード) ③「私の生活学習ノート」の活用(担任による点検とコメント指導) ・二者面談や三者面談の充実、家庭との連携	2.8	2.6	・新型コロナの影響で、授業でグループ活動や発表場面を増やすことが難しく、講義形式になりがちであった。 ・オンライン授業を行うよう職員の研修機会を設けるので、全職員が行えるよう職員研修の機会を設ける。 ・難関大講演会やオープンキャンパスなどを通して、1年の早い時期から生徒に高い進路意識を持たせる。 ・中間考査欠点保持者を対象に特別指導を行っているが、学期末で欠点を解消できない生徒が増えている。成績下位者の指導について再検討が必要である。 ・今年度で生活学習ノートを廃止し、来年度からはClassiを利用して自宅学習時間の記録や集計を行い、生徒の学習指導に活用していく。また、保護者の協力も仰いでいく。
	進路指導の充実 (有村)	①基礎学力定着と学力向上 ②キャリア教育に基づいた進路指導 ③入試改革対応と進路意識の啓発	①夏季学習会(3年のみ実施)、難関大対策進路講演会(中止)、春季講習会(2年実施予定) ・学力検討会および志望校検討会(全て実施) ・進路講演会(3年:7月、9月のみ実施) ②進路講演会(全学年:6月→11月森永顕彰会) ・1年:企業関係キャリア教育、職業講話、地域巡検 ・大学出前講座と校内進学ガイダンス(中止) ・オープンキャンパス中止によるオンライン参加 ③全職員による推薦入試指導の推進(志望理由書、小論文、口頭試問、面接討論指導) ・保護者説明会、オンライン面接受験対応、研修会	2.8	2.8	・新入試制度に伴う個々の進路希望の多様化に加え、新型コロナによる休校、進路行事等中止で進路学習が例年と比較して不十分となった。 ・入試改革に伴う授業展開の工夫。改善とともにオンラインやICTを活用した授業改革を教務・各教科と連携していく必要がある。さらなる幅広い学力層への指導体制等について必要職員研修および共通理解を深めながら次年度に向けて指導法の工夫改善が必要である。 ・地域や地域の小中学校との連携を密にし、本校の取り組み等の情報の発信や意見交換に力を入れる必要がある。 ・OBや外部機関との連携を通して、コミュニケーションを図り、職業や進路、受験意識を高めていく必要がある。
徳育の推進	規範意識の向上と生徒指導 (富永)	①基本的な生活習慣の確立 ②社会的規範意識の高揚 ③環境美化意識の高揚	①「挨拶」「時間厳守」指導のために朝の立ち番 ②交通安全教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教室の実施 ・定期的に生徒指導便りの発行 ・各学年による服装容儀指導 ・秋桜祭における全職員での校内見回り	3.0	3.2	①一部の生徒に遅刻ぎりぎりに来る生徒がいるので学年や担任と対応してなくしていきたい。 ②大きな問題行動はなかったが、秋桜祭後に教室や廊下にチョークが散乱し、一部のトイレに落書きがあるなどあったので日頃からの見回りをしっかり続けていき、気になる生徒には豆に声をかけていきたい。 ・SNS関係でトラブルがあったが学校が間に入り保護者同士で解決した。今後必ずや早く対応したい。
	道徳・人権教育の推進 (教頭)	①在り方・生き方の教育の推進 ②命を大切に教育の推進 ③人権教育の推進・意識の高揚	①在り方・生き方に関する講演会の実施 ②情報モラル教室、薬物乱用防止教室、WYSH学習の開催。(保健部・人権) ③各学期の人権教育(生徒向け)と職員研修の実施	3.0	3.0	①森永顕彰会講演会を含めた在り方・生き方講演会、職業講話等をコロナ禍のため、学年別に実施し、生徒の進路意識の高揚に努めた。 ②WYSH教育並びに人権教育では、養護教諭や体育科教員、外部講師による講義(講演)を実施した。 ③人権学習や学年集会などいろいろな場面で、人との関わり方や命の大切さを訴え人権意識の高揚に努めた。
体育の推進	心身の健康と鍛練 (教頭)	①心身の鍛練の推進 ②健康・防災教育の充実 ③教育相談室体制の充実	①保健委員会(生徒会)の新型コロナ感染症拡大防止を中心とした活動促進、保健便り・ポスター等による情報提供 ②健康講話の実施や防災関係の職員研修の実施 ③教育相談情報委員会(毎週実施)の機能充実と関係機関との連携促進	3.0	3.0	①保健委員会を通して感染症拡大防止を重点的にしながら、心身の健康や生活習慣について繰り返し呼びかけ、生徒の意識の向上につなげた。 ②保健部を中心に救命法講習会を生徒・職員共に実施した。また、避難訓練にみやざきシェイクアウトを組み合わせた、防災教育を行った。 ③早期に教育相談部や関係職員との連携を図り、組織的に対応できた。後半は、スクールカウンセラー(月1~2回)と協力して生徒に対応した。
	部活動の活性化 (富永)	①部活動の競技力向上 ②部活動加入率の向上 ③文武両道の実践	①部顧問会の実施・外部指導者との連携 ・進路部や学年および担任との連携による活動支援 ②部活動紹介の工夫 ③部活動生集会の実施	3.0	3.2	①男女駅伝部、女子バスケットボール部全国大会出場をはじめ男女ハンドボール部の九州大会出場など多くの部活動で活躍を行っている場に1年生を見学させる方式に変更した結果以下の通り加入率は上昇 ・部活動加入率:85.2%(昨年80.3%) ③部室の清掃はもちろん、普段からの学習の大切さを指導しているが両立できないと悩んでいる生徒もいるので計画的な学習をさせたい。

学校評価委員の意見や提言

【全体】

○前回、校長先生はじめ先生方の話を聞き、生徒たちへの思う気持ちが伝わりました。そういったことも、保護者や小中学生にもっと発信して欲しいです。

【学力向上・進路指導】

○特に体育コースについては偏差値を50を目指してほしい。

【生徒指導】

○他校と比べてはよくないですが、SNS等のトラブルは高校で増えていますが、学校が間に入りすばやく対応したと聞き、素晴らしいと思いました。他校では「学校が対応したがらず」というのが今の現状だと耳にしています。先生方が生徒、保護者との信頼関係ができているのだと思い、感動しました。

○未曾有のコロナ禍での学校教育活動、大変苦慮されたことと思います。Classiを活用することで、教育のICT化がすすみ、学力向上や指導の充実をして欲しいと思います。

【部活動】

○体育館の使用について…ハンドボール部の体育館の使用を週2～3回できるようにしてほしい。

○文武両道の観点から学生の部活動加入率100%を目指し、『誰でも入れる』部活動にしてほしい。

【その他】

○今回、学校評議員として何もできませんでした。とても勉強になりました。貴重な体験をさせてもらいありがとうございました。私も小林高校の良さを保護者に伝えていきたいと思っています。

○小中学校との連携を密にし、小林高校での取り組みや情報等、更に伝える機会が増えることで、小林高校に入学し勉強していきたいと思う子供が増えると思います。在籍している先輩が母校へ行き、そこで後輩に話すことが一番伝わると思います。

○他校に負けない、小林高校の魅力をどんどん地域へ発信して欲しいと思います。

○コロナ禍の中で初めてのことなどたくさんあり、よく感染拡大を防ぐために努力して行われたと思います。ご苦労様でした。今後とも、いろんなことを想定して頑張ってもらいたいと思います。

【瀬戸口】

- 小中学校との連携を密にし、小林高校での取り組みや情報等、更に伝える機会が増えることで、小林高校に入学し勉強していきたいと思う子供が増えると思います。在籍している先輩が母校へ行き、そこで後輩に話すことが一番伝わると思います。
- 前回、校長先生はじめ先生方の話を聞き、生徒たちへの思う気持ちが伝わりました。そういったことも、保護者や小中学生にもっと発信してほしいです。
- 他校と比べてはよくないですが、SNS等のトラブルは高校で増えていますが、学校が間に入りすばやく対応したと聞き、素晴らしいと思います。他校では「学校が対応したがらず」というのが今の現状だと耳にしています。先生方が生徒、保護者との信頼関係ができているのだと思います、感動しました。
- 今回、学校評議員として何もできませんでした。とても勉強になりました。貴重な体験をさせてもらいありがとうございました。私も小林高校の良さを保護者に伝えていきたいと思っています。

【久美田】

- 学力向上…特に体育コースについては偏差値を50にすること。
- 体育館の使用について…ハンドボール部の体育館の使用を週2～3回できるようにすること。
- 文武両道の観点から学生の部活動加入率100%を目指し、『誰でも入れる』部活動にすること。

【永田】

- 未曾有のコロナ禍での学校教育活動、大変苦慮されたことと思います。Classiを利活用することで、教育のICT化がすすみ、学力向上や指導の充実をしていって欲しいと思います。
- 他校に負けない、小林高校の魅力をどんどん地域へ発信して欲しいと思います。

【森岡】

- 特になし

【宮内】

- コロナ禍の中で初めての事などたくさんあり、よく感染拡大帽子を防ぐために努力して行われたと思います。ご苦労様でした。今後とも、いろんなことを想定して頑張ってもらいたいと思います。